



Joji Hirota



久保田悠太香



チャリティーコンサート

江差追分〜レクイエム

Joji Hirota with Sendai Philharmonic String Ensemble & Friends

チャリティーコンサート

江差追分〜レクイエム

「ロンドンの音楽家 廣田丈自、指揮者 久保田悠太香
仙台フィルのセレクトメンバー共演によるコンサート」

Joji Hirota with Sendai Philharmonic String Ensemble & Friends

日時：2011年8月13日(土) 18:00開場 18:30開演

場所：仙台市青年文化センター(シアターホール) 料金：無料(義援金にご協力お願いします。)

地下鉄旭ヶ丘駅前 ※駐車場スペースに限りがありますので、公共交通機関でお越し下さいますようお願いいたします。

コンサート収益金と当日のすべての音楽は、被災され、大事なものを失い、涙を流された多くの方々のために捧げます。なお、仙台地区の避難所及び仮設住宅へマイクロバスの送迎を行う予定です。

主催 海に向こうのメッセージを届ける会(代表 松任谷愛介)
協賛 ミツハシライス/株式会社ショウタイム/花はんグループ
協力 聖路加国際病院/聖路加看護大学/有限会社 3D Factory
学校法人 滋慶文化学園 仙台コミュニケーションアート専門学校
畑元太鼓店/ヴァージンアトランティック航空
音楽の力による復興センター/一般社団法人 元気ジャパン
後援 仙台放送/東日本放送/仙台シティエフエム/bayfm
河北新報社/日本経済新聞社 仙台支局/株式会社すまいるネット

<コンサートのお申し込み先>

委員会事務局(花はんグループ事務所内) 担当 奥田
TEL: 022-225-8577
FAX: 022-225-0052
先着500名様で締め切らせていただきます。

大震災から4週間後の4月5日 「被災地の方々のために何かをしたい」と考える音楽家たちが ロンドン郊外に集まり「江差追分～レクイエム」が録音された。

荒い波風 もとより覚悟 乗り出す舟は浮世丸・・・ 西か東か 身は白波の上 漂う海原 果てもない・・・

短い歌詞に込められた江差追分の力は人種の壁を越えて人を動かし、そして電波に乗って日本でも静かな広がりを見せている。

音楽家たちが魂をこめて演奏した江差追分。彼らの思いはこの曲を被災地の方々に届け、ひとときの安らぎを感じていただくことだった。

多くの方々の温かいご支援を得て、ロンドンから音楽家廣田丈自を迎え、「江差追分～レクイエム」開催の運びとなった。

そもそも「追分」とは路の分岐点のこと。西と東、南と北、過去と未来、静と動・・・

追分を前にして、旧盆の入りとなり多くの迎え火が灯されることとなる仙台で、想いがひとつになればと思います。

プロデューサー 松任谷愛介

今晚の音楽とコンサート収益金のすべては、被災され、多くの大事なものを失い、涙を流された方々のためにお届けします。



廣田丈自（パーカッション・和太鼓・尺八・唄）

北海道出身、現ロンドン在住。京都芸術大学4年在学中 日本の劇団と共にアビニオン芸術祭参加の為、渡仏 その後イギリスのダンスカンパニーリンゼイケンブに打楽器担当、音楽監督として参加。日本文化の紹介、普及に貢献したとして在英日本大使館より、大使館長賞を授与される。2007年「ニュース ウィークの世界が尊敬する日本人100人」の一人に選ばれる。BBC テレビドラマ、ロイヤルシェークスピア劇団の音楽担当、その他世界の有名アーティストとの共演多数。震災に心を打たれ、2011年4月5日、ロンドン・メトロポリタン・オーケストラと江差追分前唄～レクイエムをロンドン郊外「パインウッドスタジオ」で収録。現在に至る。



久保田悠太香（指揮者）

1950年長崎生まれ。1989年に南西ドイツ室内管弦楽団を指揮してドイツ楽壇にデビュー。緊張感と集中力溢れた演奏は各紙で絶賛される。その後ドイツ各地での演奏会や初来日公演の客演指揮をつとめる。1991年にヨーロッパのメジャー・オーケストラの首席を勤める日本人演奏者を集めて結成された「ユーロ・ジャパン・オーケストラ」の常任指揮者に就任。高度な演奏技術と様々なジャンルの曲を音楽性豊かに表現するヴィルティオーゾ・オーケストラとしてヨーロッパに衝撃を与える。世界で活躍するアーティストたちのジャンルを超えたコラボレーションによる斬新なプログラムのコンサートを各地で開催している。



仙台フィルハーモニー管弦楽団（セレクトメンバーによる弦楽アンサンブル）

1973年創立。仙台市青年文化センターでの定期演奏会を中心に、年間120回に及ぶ公演活動を展開している。3年ごとに開催されている仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラを務めているほか、映画「劔岳 点の記」（2010年日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞）の音楽を担当し話題となった。2011年の大震災により予定されていた演奏会のほとんどが中止となったなか、「音楽の力による復興センター」を立ち上げ、「つながれ心、つながれ力」を掲げて、音楽を届けながら絆を紡ぐ活動を展開している。常任指揮者にパスカル・ヴェロ、正指揮者に山下一史、首席客演指揮者に小泉和裕が就任している。



ヴィクトリア・ジジナ（歌）

ロシア ウラジオストック出身。6歳から歌い始め、8歳の時に国内のコンクールで優勝。大学生の頃から本格的に歌の勉強を始める。ロシアのホテルでヴォーカルを8年間務め2007年から日本に住み ライヴハウス等で活動。震災以降ロシアに帰国していたが、この度のコンサートのため日本に戻ってくる。



金崎裕行（ジャズピアニスト）

1954年岩手県大槌町生まれ。大学時代から仙台でジャズピアニストとして活躍。ロック、シャンソン、ラテンなど幅広くこなすオールラウンダー。ジャズでは東北のトッププレーヤーとして一流ミュージシャン達との共演多数。後輩の指導、育成にも精力的に携わる一方、作曲、オーケストラの編曲等多方面の仕事に活躍している。友情出演 菊地栄広（フルート）



佐々木由希子（ピアノ）

秋田県出身。5歳からピアノを始める。中学 高校ではブラスバンドでパーカッションを、大学ではチェロを始める。卒業後、各地での作曲活動を続ける一方で、各地でのコンサート活動にも積極的。クラシックとジャズの両面で演奏を行っている。リーダーアルバム「MY LOVE」をリリース。現在に至る。



族-yakara-（和太鼓&篠笛）

宮城県を拠点に活躍する和太鼓ユニット。これまで様々なアーティストコラボ等、音楽としての創作太鼓活動を行ってきた。大震災以降「希望の鼓」と共に被災地を巡り演奏活動に励み、東北の祭が一同に会す六魂祭開祭式では鎮魂の和太鼓を捧げた。

友情出演 畠山 絵利羽（ヴァイオリン） 佐々木 夏生（チェロ）

<お問い合わせ先>

委員会事務局 花はんグループ（奥田）

TEL: 022-225-8577

FAX: 022-225-0052